

いちご次世代施設園芸コンソーシアム視察研修

7月27日に、いちご次世代施設園芸コンソーシアムの視察研修を開催し、「イチゴ創造ネットワーク(SS-ネット)」会員および関係機関15名が、グランベリー大地および道の駅常総を訪問しました。

グランベリー大地においては、代表取締役の吉原氏より、グランベリー大地設立までの経緯や施設の概要、取組について説明いただいたのち、つり下げ式のベツを用い、環境制御システムによる温度管理や炭酸ガス施用、さらにはLEDによる補光も行うハウスや、自動選果機が導入された選果施設、そして生産したイチゴを用いたスイーツやお土産品を販売するカフェなどを見学させていただきました。

また、道の駅常総においては、常総市役所アグリサイエンスバレー整備課より、アグリサイエンスバレー構想について御紹介いただきました。市では、農業を核とした生産・加工・流通・販売が一体となった産業団地の整備を進め、収益性の高い農業モデルを展開するとともに、市が農商工業者の連携を促して新たなビジネス創出を促しているとのことで、取組を通じて農業者に稼ぐ力を付けてもらうことを目指しているとのことでした。

いずれの取組も大変先進的なものであり、参加者は大きな刺激を受け、活発な意見交換や交流が行われました。普及センターでは、バスでの移動中、スマート農業の手引きやコンソーシアムの実証試験の結果説明を行いました。引き続き、生産者の技術力向上と、儲かる農業の実現のため、支援を続けていきます。



鉾田地域農業改良普及センター(成長産業)